



つながる道、命の道

京奈和自動車道

「橋本道路」の橋本東IC～橋本IC間(4.9 km)が、開通しました。

これにより、奈良

県の五條北IC～和歌山県の高野口IC

間(19.2 km)が全線開通となりました。この区間は、広域的な道路ネットワークの役割を果たすことはもちろん、並行する国道24号の交通混雑の緩和、交通事故の減少が期待されています。

京奈和自動車道は、延長約120 kmの高規格幹線道路で、近畿圏の外郭環状道路として機能するとともに、地域連携を強化する役割を担う路線です。和歌山県内は約40 kmが事業化されていて、今回開通した橋本道路(11.3 km)と紀北東道路、それに紀北西道路と整備が進められています。



近畿自動車道紀勢線「南紀田辺IC」(田辺バイパスをのぞむ)



京奈和自動車道「橋本道路」(橋本ICから高野口方面をのぞむ)

一方、近畿自動車道紀勢線については、みなべIC～南紀田辺IC間(5.8 km)が11月11日に開通する予定です。これに合わせて、今月末には開通イベントが予定されています。

また、那智勝浦道路の一部が今年度開通する予定です。道路は、人と人との交流を活発にするだけでなく、防災面でも安心を支える命の道でもあることから、その整備に期待が寄せられています。

県政広報番組のお知らせ

テレビ テレビ和歌山(WTV)

【きのくに21 (県の施策や地域的话题を紹介)

日曜 9:30・(再)22:00

10月の主なメニュー(30分番組)

- 10月 7日 地球深部探査船「ちきゅう」
- 14日 知事と語る
- 21日 デンマークとの交流の歴史
- 28日 10月は県食育推進月間!

県民チャンネル

月・木・金曜日 20:55
火曜日 21:55
水曜日 19:55



ラジオ 和歌山放送(WBS)

県庁だより

毎日11:40・(再)18:00



こぼれ話

「あわい」を歩けば・・・。(太地町)

今月号のふるさと再発見(14ページ)で紹介した太地町の役場周辺には、昔からの家並みが残っています。「あわい」と呼ばれる路地を歩くと、まず、日本家屋の外壁が淡い黄色や緑色、それに桃色に塗られていることに圧倒されます。あらためてそれらの家屋を眺めると、2階窓に取り付けられた格子にいろいろな意匠を凝らしているのが目に入ってきます。

家ごとにその意匠を競うかのように、鳥や船を模したものや幾何学模様など多種多様です。これも鯨にまつわる町ならではのものでしょうか。

皆さんもこの家並みを訪ねてみてはいかがでしょうか。「あわい」を吹き抜けるさわやかな風を感じに。もちろん、マナーは忘れずに。



【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報室 ☎073-441-2032